

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

地域住民・企業が安心・安全な生活ができるまちづくり・環境に配慮した安全施工に取り組むとともに持続可能な社会の実現を目指す。多様な人材の雇用促進及び若年層技術者の育成により、全従業員が無理をしない雇用環境に努める。社内DX化の推進に取り組み、業務効率化・生産性向上を図り、労働時間の短縮・働き方改革に取り組む。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	社内書類のペーパーレス化、裏紙の利用の実施	コピー用紙の使用枚数 2026年度10%削減(2023年度比)
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	社員の資格取得によるレベルアップ 全社員の有給休暇取得の推進 年齢を問わない中途採用の実施	1級管工事施工管理技士保有率 2023年度10% → 2026年度20% 有給休暇取得率 2023年度70% → 2026年度90% 中途採用 2023年度0人 → 2026年度2人
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	地域住民の意向を考慮し安全施工に取り組む(労災事故防止)	労災事故発生件数 2023年度0件 → 2026年度まで0件継続

<パートナーシップ>

協会や協力会社と連携し、地元熊本の安全・環境配慮に貢献する。ステークホルダーとの信頼関係の構築、協力体制の維持を図り、社内においても従業員の働きやすい雇用環境の整備に努める。

- ・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。